

2019年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名		財務会計演習Ⅰ		担当教員		廣瀬 郁雄	
	英語授業科目名		Financial accounting seminarⅠ		単 位		4 学 期 通 年	
対象年次	1 年次		クラス指定	なし		他との関連		財務会計特論AB
履修条件	財務会計特論A・Bを同時に履修すること							
テーマ・副題	わが国会計実務の現状とその問題点分析について							
授業の教育目的・目標	この授業は、財務会計を研究するなかで2年次に履修する「財務会計演習Ⅱ」における修士論文のテーマを見つけ出すことを教育目的・目標とする。							
授業の理解度の到達目標	次年度の「財務会計演習Ⅱ」につながる修士論文のテーマ（論点、課題など）を決定することが授業の達成目標となる。							
授業キーワード	国際会計基準、企業会計基準							
授業の内容	わが国の財務会計制度は、従来、会社法会計の確定決算に税務政策を取り入れた税務会計が結びついた確定決算主義会計と、これに投資家保護を主目的とした金融商品取引法が相乗りしたトライアングル体制と呼ばれる日本特有の会計構造が久しく採用されてきた。しかしながら、21世紀に入り、このようなわが国特有の会計構造に国際会計の波が押し寄せ、わが国の財務会計制度に大きな影響を及ぼしてきている。したがって、この授業では、このような国際会計の波がわが国の財務会計構造にどのような影響を及ぼし、またどのような問題をもたらしているかを考察する。							
授業の方法	各回の課題ごとに担当者を決め、その担当者の発表を中心にその内容を討議形式で授業を進めていく。							
授業展開	最近発刊されている会計専門誌で取り上げられている会計問題や会計事例を課題に、発表担当者を中心に取り上げられた課題の問題点を整理したうえで、その解明を探ることにする。 なお、財務会計演習Ⅱの授業と同時に行う場合には、2年次学生の修士論文の報告について意見交換を行っていく。							
成績評価方法	課題の取り組み方(50%)、授業での発表や討論の状況(50%)などを総合して評価する。 なお、出席状況が60%未満である場合には、成績評価が不合格になる場合がある。							
成績評価基準	成績は総合点で80点以上をA、79～70点がB、69～60点がC、それ以下をDとする。							
テキスト	特に指定しない。							
参考図書	会計専門誌；企業会計、税経通信、会計・監査ジャーナル、経営財務など							
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	各自の研究論文テーマ（論点、課題など）に対して、発表担当者は発表内容の作成並びにその発表に対する予習を充分にしておくこと。							
学生へのメッセージ	この講義を通じて修士論文のテーマ（論点、課題など）を早めに決定するように心掛けること。							
オフィスアワー	主に下記に示したメールでもって質問等を受けることにする。							
連絡先	電話番号	0274-42-2828			メールアドレス:	hirose@ic.jobu.ac.jp		
人数制限	なし							